

開講科目名	日本事情I A			
成績入力担当	實平 雅夫	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.5単位
ナンバリングコード	R1JJ190	曜日・時限等	火2(対面)	時間割コード

授業のテーマ

授業のテーマ：日本文化と日本社会

授業の到達目標

日本文化と日本社会について画一的なものを見方を相対化できる。

授業の概要と計画

詳細はBEEF+にて指示する。シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

<https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp>

詳細は以下のとおり。

日常生活や社会的慣行の中に潜在化している日本の伝統的文化や社会的風土を観察・認識し、理解すると共に、現代日本の社会の仕組み及びその成り立ちを考察する。さらに、地域社会とゆかりの深い事象を取り上げ、関西・神戸に対する理解を深める。

授業計画は以下のとおり。

- 第1回4/14 ガイダンス、学習事項確認
- 第2回4/21 トピックを探す、調査方法
- 第3回4/28 調査、資料作成
- 第4回5/7木 リハーサル、フィードバック
- 第5回5/12 プレゼンテーション1
- 第6回5/19 プレゼンテーション2
- 第7回5/26 中間試験
- 第8回6/2 振り返り、フィードバック

週1回 全8週

1科目15時間

成績評価方法

試験 60%

授業への参加度及び発表 40%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

成績評価基準

日本文化と日本社会について画一的なものを見方を相対化できるか。

履修上の注意（関連科目情報）

本授業は、同教員が担当する第20日本事情ⅠBと連続で開講する授業科目のため、両方の授業を必ず履修すること。

本授業は上級レベルの日本語科目である。履修希望者は、中上級レベルの学習を終えているか、CIE-JTestのレベルが上級であること。2019年までのJ-CATの合計得点が271-320点であること。

交換留学生受講可：【留学生に求める能力】日本語に関する上級レベルの用語について日本語で理解できること。

日本事情に関する情報検索・資料作成のため教育のためパソコンを持参のこと。

事前・事後学修

事前学修：各回の授業で取り扱う項目について、配付資料（又はBEEFに事前掲載した資料）の関係する部分を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。

事後学修：資料の授業で取り扱った部分を再読し、授業で学んだことについてまとめること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

火曜日 12:30-14:00（事前連絡要）

sanehira[AT]port.kobe-u.ac.jp 078-803-5276

※上記のアドレスの[AT]の部分をアットマーク@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

学生へのメッセージ

授業外でも、日本人学生の集まりや、地域のホストファミリープログラムなどに参加し、交流を楽しんで下さい。

今年度の工夫

授業内外で日本人学生との協働学習の機会を設けます。

教科書

ハンドアウト

参考書・参考資料等

改訂版 トピックによる日本語総合演習 一テーマ探しから発表へー 上級 / 専修大学国際交流センター 監修 安藤節子・佐々木薫・赤木浩文・坂本まり子・田口典子 編著：スリーエーネットワーク，2010，ISBN:9784883195237

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本事情、上級、日本語、パソコン、対面授業、交換留学生（特別聴講学生）可、授業への参加度、長文レポート